

2006年4月7日

ライオン株式会社
取締役社長 藤重 貞慶 様

「新トップ」のCMに関する要請
～パーム油の原産地における環境社会影響～

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、現在放映されている、御社の「新トップ」のCMに関し、私たち、世界の森林問題に取り組む団体・個人は以下のような懸念を持っております。

1. 一般的に、パーム油の原産地において、依然として環境・社会問題が生じています。主たる問題には、大規模な森林生態系の転換、用地取得に伴う地元住民の権利の侵害、不適切な農薬の使用による水質・労働者の健康への影響、低賃金・危険作業等の労働問題が含まれます（別紙参照）。
2. 本CMは、これらの問題にも関わらず、「パーム油＝環境にやさしい」という誤解を視聴者に与える恐れがあります。生産地の問題を解決するためには、選択的なパーム油の購入など消費側における取り組みが重要であり、本CMのように一概にパーム油は環境にやさしいとするメッセージは、こうした取り組みを阻害しかねないおそれがあります。
3. さらに、御社が使用しているパーム油の原産地における環境社会影響について公開しないままに、このようなCMを流すことは、説明責任に欠けると考えます。

以上を踏まえ、私たちは下記を要請いたします。

1. 「パーム油は（パーム油を使用しているから）環境にやさしい」という表現を使用しないこと。
2. 御社が調達されているパーム油の原産地情報、及び環境社会影響を公表すること。

つきましては、私どもの懸念及び要請に対する回答を2006年4月28日までに頂ければ幸いです。

なお、私たちは御社が最近RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）に加入された

ことを評価しております。同会議において、様々なステークホルダーにより、2年間にわたり議論され、合意された持続可能なパーム油に関する基準を御社が適用されること、またその結果及び確認過程を公開されることを希望しております。

以 上

国際環境 NGO FoE Japan (中澤 健一)
財団法人 地球・人間環境フォーラム (満田夏花/坂本有希)
日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI)
泊 みゆき* (NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク理事長)
緑川 芳樹* (グリーンコンシューマー研究会代表)
サラワク・キャンペーン委員会
ウータン・森と生活を考える会 (西岡良夫)
AMネット (川上豊幸)
特定非営利活動法人 グリーンピース・ジャパン (尾崎由嘉)
岡本 功* (NPO レインボー、NPO 国産材)
高橋 漠* (国連地域開発センター・研究員)
松林 健一* (NPO 法人地域自然情報ネットワーク 理事)
NPO 法人森の生活 (代表 奈須憲一郎)
向達 壮吉* (東京都環境学習リーダー)
その他 個人 8 名

(8 団体・14 個人)

*個人としての賛同

連絡先：

地球・人間環境フォーラム

担当 満田夏花 (みつた・かんな)

e-mail: kanna.mitsuta@nifty.com

TEL.03-3592-9735 FAX.03-3592-9737

東京都港区虎ノ門 1-18-1 5F